

平成25年度 島原半島観光連盟事業報告

島原半島観光連盟では、これまで島原半島の観光客の誘致等、観光事業の振興に取り組んでまいりました。平成23年には長崎県「GAMADASUプロジェクト」に採択され、島原半島が有する多彩かつ具体的な観光コンテンツや旅行商品の造成、島原半島の魅力をトータル的に発信する観光プロモーション、そしていままで機能していなかった島原半島の観光をコーディネートし推進する機能を有する島原半島観光連盟組織の体制づくりなどに3か年をかけて取り組んできております。本事業は、雲仙天草国立公園をはじめとする自然・歴史・文化などのポテンシャルの高い観光のコンテンツを大地の鼓動を体感・学習できる島原半島世界ジオパークをとおして、地域の魅力を全く新しいかたちの観光プログラムに昇華させようとするものであり、特にこの取り組みにはジオを基調とした「ジオ・ツーリズム」や「ジオ・マルシェ」という、他所にない島原半島の独自のプログラムとして注力してきました。

◎島原半島ジオ・ツーリズムの確立

○ジオツーリズム商品造成

- ・島原・天草巡礼マップを製作・配布することで、長崎の教会群とキリシタン関連遺産の世界遺産登録を支援すると共に、島原半島世界ジオパークである島原半島を巡るジオツーリズムを支援。
- ・ポールウォーキングイベントを全3回実施（4/29、7/14、3/9）し、島原半島の観光地を健康的にめぐる体感ツアーを開催。延べ参加人数 109 人。
- ・一昨年開通した普賢岳新登山道のトレッキングイベントを開催（9/22）。参加人数 55 名
- ・その他、雲仙紅葉ウォーク、島原半島ツデーマーチ、国立公園「雲仙」80周年記念ノルディック・ウォーク体験ツアーに協力を行った。



○ジオツーリズムフェスタの開催

- ・季節に応じた体験プログラム特別企画を開催。9プログラム全14回開催。延べ参加人数 295 名。
- ・島原市に宿泊しかつジオパークが身近にある施設を見学するツアー造成（読売旅行「新春お年玉ミステリーツアー：1月～3月）を行った。参加者数 1,306 名。



○JR九州・島鉄等タイアップ旅行商品造成

- ・島原鉄道運行の島原半島周遊150バスの周知のため、新聞広告1社2回、広告費補助を2社実施した。
- ・「私の父はチャンポンマン」ロケ地と小浜温泉をめぐるJR九州ウォーキング開催にあたり、シャトルバス運行やチラシ等の作成を協賛した。
- ・JR九州発行の島原半島観光マップ、長崎・佐賀の旅への広告協賛。



○島原半島女子旅プロジェクト

- ・昨年度福岡で募集した女性16名から組織した女子旅メンバーと共に島原半島のツアー造成にかかる企画会議(5回)やモニターツアー(2回)を実施。その結果、年4回春夏秋冬季節に応じた旅行商品が造成され、JTB福岡にて販売が決定した。



◎島原半島ジオ・マルシェの定着化

○定期的ジオ・マルシェの開催

- ・島原半島内で生産されている「こだわり」商品による自由市であるジオ・マルシェを開催した。

開催回数10回(12月無し)、延べ出展者数315、
延べ来客者数39,900人、売上9,890千円



- ・島原市のウィンターナイトファンタジアにて出張ジオ・マルシェを開催

12/24開催、出展者数5店舗、来客数1,500人、売上180千円

- ・上記を周知するため、新聞広告やチラシ・ポスター、周知に係る資材の製作を行った。

○特大ジオ・マルシェの開催

- ・長崎県の補助事業を活用し、定期的ジオ・マルシェの拡大版「特大ジオ・マルシェ」を開催。

11/23~11/24開催、出展者数92店舗、来客数56,000人、売上14,800千円



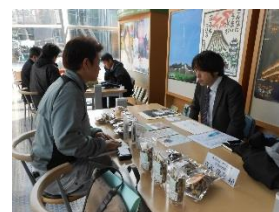
○ジオグルメ推進事業

- ・有明海で捕れる蛸を「はしりだこ」としてブランド化することを目的に、はしりだこロゴをはじめ、PR素材（のれん、のぼり、チラシ）を製作した。
- ・島原半島のかまぼこをブランド化するため、11/3開催の雲仙市かまぼこ祭りイベント協賛を行った。また、島原・雲仙かまぼこ組合と島原商業高校との連携による新商品「かまポテト」の開発・販売を補助するため、島原半島ジオ・マルシェでの出展を行った。



○物産開発・販売促進事業

- ・ジオ・マルシェ出展者を対象にしたバイヤー商談会を2回開催。
- ・ジオに関する食を紹介する雑誌への記事広告掲載。
- ・ジオ・マルシェの物販サイト「ジオ・net・マルシェ」の構築を行った。あわせて島原半島観光連盟本体WEBページの特産品部分の大幅改修を行った。
- ・地域ブランドアドバイザー研修に3回参加。



○薬草関連事業

- ・薬草関連商品の製品化のため、大型百貨店対応可能な商品を開発するとともに、観光客への消費拡大を目的として半島内ホテル旅館でのメニュー化を行った。また半島内の事業者薬草商品の新規開発や販売促進のための工夫を行ってもらった。
- ・SNSを活用した情報発信（ページビュー総数約17,200、フェイスブックいいね数460人）
- ・月に2回程度、美容、健康情報やお手軽簡単薬草レシピ、最新の薬草関連情報などを盛り込み、島原薬食育プロモート協議会会員や名刺交換をした人向けに配信した。メルマガ登録人数213人。
- ・薬草関連イベントの開催（子供向け薬草講座主催、島原薬草フェア共催）とデモ店舗出展（島原城まつり、ジオ・マルシェ等）を行った
- ・薬学分析11品種を行った。

◎プロモーション

○熊本向けラジオプロモーション

- ・RKK及びFMKでのラジオプロモーションを実施したことにより、熊本県内及び周辺の可聴地域への島原半島の観光情報やイベント情報を発信することができた。



○福岡向けプロモーション

- ・九州管内をはじめ全国を读者とする雑誌に対する取材協力（2誌）や広告協賛（3誌）をすることにより、島原半島の存在と観光PRを行うことができた。
- ・従来は島原半島の観光ポスターを各地で開催されるイベントや観光ブースに掲示していたが、ロールバナーを制作することにより、人目を引く大きな観光ポスターの掲示が容易となった。
- ・主に福岡都市圏住民をターゲットして、それを取り扱う旅行代理店に対し、芝桜やジャカラングダを素材として営業活動を行った。



○イメージガールの活用及び県内向けPR

- ・昨年度に引き続き、島原市出身の宮崎香蓮を島原半島のイメージガールとして起用し、ポスターや印刷物による島原半島のPRを行った。
- ・地元コミュニティFM局「FMしまばら」でのラジオプロモーションを行った。
- ・県央地域観光情報誌に対する取材協力をを行い、長崎市・諫早市・大村市からの誘客を図った。



○観光素材集の作成

- ・島原半島の観光情報を効率的に観光客へ周知するためのパンフレット等の宣伝資材を制作した。また、旅びよりとマップチラシは広告協賛を募集し、自主財源の確保に努めた。

島原半島観光総合パンフレット「旅びより」の改訂

30,000部

島原半島観光紹介マップチラシの製作 100,000部

（増刷50,000部含む）



ビニールバッグ製作 13,000 枚

ペーパーバッグ製作 2,000 枚

宮崎香蓮クリアファイル製作 10,000 枚

わお！ハイウェイマップ製本・広告 10,000 部



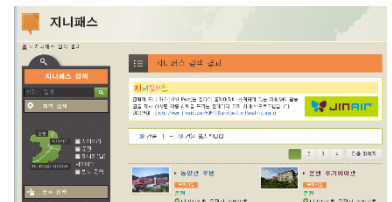
○修学旅行誘致

- ・島原半島への修学旅行誘致の拡大を図る目的で、広島128校、大分181校、福岡233校への営業活動を実施。
- ・昨年度作成した修学旅行用パンフレットを増刷し、旅行代理店や学校への営業活動に利用した。
- ・長崎県観光連盟主催の関西地区修学旅行誘致事業（9月）に2名同行し、島原半島への中学校の修学旅行誘致を図った。



○インバウンド対策

- ・雲仙普賢岳新登山道を利用する韓国人観光客雲仙普賢岳トレッキングへの協賛としてサンプルを提供したことにより、参加した韓国人に対して島原半島の観光PRを行った。
- ・長崎県と釜山広域市の交流25周年を記念した県観連主催の交流会・代理店訪問に参加することで、島原半島の観光PRを行った。
- ・韓国のジンエアー社と協定を結び、ジンエアーを利用した韓国人観光客が島原半島の観光・宿泊施設で割引を受けられるジニパスプログラムを実施することとなった。



○国立公園「雲仙」指定80周年及び島原半島世界ジオパーク認定5周年記念事業

- ・キックオフイベントを通して国立公園「雲仙」80周年及び島原半島ジオパーク5周年の節目の年であることを長崎県内外に周知することができた。
- ・横断幕製作、島鉄沿線看板設置、新聞広告掲載を行うことにより、情報発信を行うことができた。



◎広域連携事業

○雲仙天草観光圏整備事業

- ・島原半島地域と天草地域と共同で、インバウンド対策（巡礼マップ製作等）や、教育旅行コンサルタントを活用した教育旅行誘致事業、島原半島周遊150バスの運行を行うことで、熊本駅を起終点とした島原半島と天草諸島の周遊観光の確立を図った。

○島原・有明地域観光連携事業

- ・熊本県北部の玉名地域振興局管内の市町と大牟田市、島原半島地域が連携して観光振興を図るため、島原・有明地域観光連携会議に参加した。地域観光資源の発掘に係る調査や両地域の観光担当者の相互理解を図る研修をとおして、今後の両地域の観光発展の基礎を固めた。

◎体験プログラム受け入れ

- ・修学旅行生を中心に、島原半島での農業体験などプログラムを実施した。
- ・体験プログラム実施数：6,889人（内修学旅行：5,451人）

上記事業を実施するため、下記の補助金等を活用した。

○ GAMADASUプロジェクト（長崎県がんばらんば地域づくり交付金）

- ・島原半島の観光推進を図るため、長崎県がんばらんば地域づくり交付金を活用した。

交付期間：平成23年12月1日～平成26年3月31日

○ GAMADASUプロジェクト推進事業（緊急雇用創出事業）

- ・島原市、雲仙市、南島原市からの委託を受けて3名を雇用し、GAMADASUプロジェクト事業の推進を図り、島原半島の観光推進を行った。

雇用期間：平成25年5月20日～平成26年3月31日

○ まるまる島原半島事業（長崎県21世紀まちづくり総合推進事業）

- ・長崎県の補助事業を活用し、定期的ジオ・マルシェの拡大版「特大ジオ・マルシェ」を開催。